

シンポジウム

現代日本の 若年世代の価値と行動

若者がどのような価値観をもち、いかに行動しているのかを正しく理解することは、グローバル化時代にある社会や世界の未来を考える上で、たいへん重要です。われわれ金沢大学の研究グループはこの課題に取り組むプロジェクトを開始しました。今回、日本の若年層の意識と行動に関する実証研究に取り組んでこられた心理学者と社会学者をお招きし、ご講演と学際的な討議をする場を計画しました。このシンポジウムは、参加者の皆さんが、若年世代の価値観と行動をよりよく理解する機会になるはずです。どうぞご参加ください。

日時

2015年

9月12日土

13:30~17:00

(受付開始 13:00)

入場
無料

会場

金沢大学サテライト・プラザ

〒920-0913 金沢市西町三番丁16番地

金沢市西町教育研修館内

TEL 076-232-5343



プログラム

【趣旨説明】

轟 亮(プロジェクトリーダー:金沢大学・社会学)

【第1講演】

「恋愛を求めないのは“悪”なのか？」 高坂 康雅(和光大学現代人間学部・心理学)

恋愛を求めない若者の存在が世間の注目を集めており、その多くは、否定的・批判的な視点で捉えられている。

恋愛を求めない若者は“悪”なのか、そして、そのような若者を“悪”としているのは誰なのか、を実証的なデータをもとに考えていきたい。

【第2講演】

「現代的な友人関係の幸福と不安」 辻 大介(大阪大学大学院人間科学研究科・社会学)

現在、若者の友人関係に対する満足度は高い水準にあるが、一方で、友だちのいない「(ひとり)ぼっち」がきわめて否定的に捉えられるようになっていく。友人関係の充実と不安が併存するこの状況を、社会の変化と関連づけながら読み解いていく。

【共同討議】

ファシリテーター:岡田努(金沢大学・心理学)・小林大祐(金沢大学・社会学)